

ごあいさつ

日頃、皆さまには本組合の事業運営に特段のご支援とご協力を賜り、心より感謝と御礼を申し上げます。

本年も、当ＪＡの主な事業の内容や組織概要、経営内容などについて公開し組合員、利用者の皆様が安心してご利用頂けるよう、ディスクロージャー誌2023を作成いたしましたので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

さて、前年に引き続き新型コロナウイルス感染症とウクライナ情勢の影響を受けた一年となりましたが、令和４年度はさらに記録的な円安とエネルギー価格の高騰が日本経済に大きな影響を与えました。農業においてもこの影響は甚大であり、資材高騰と重なるこの負の要因は農業者・農業関係者の自助努力の範囲を超え、厳しい負担を強いるものになりました。

農政においては、令和４年10月に「食料・農業・農村基本法」の法改正を行うべく基本法検証部会が設置され、テーマとして食料安定供給の確保、農業の持続的な発展等々について協議が行われており、ＪＡグループとしては政府に対する意思反映を行うべく活動を展開しているところです。

このような情勢下、当ＪＡにおいては、事業活動をＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）と関連付けて展開しており、その中で第七次中期経営計画にも掲げている「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現に向け取り組みを行いました。

農業者の経営負担軽減に向けては、市町に対して補助事業の上乗せ措置の要請を行いました。さらに、訪問活動を通じて肥料価格高騰対策事業等の補助事業に関する情報提供を行い、次世代の農業者に向けては市町と連携して新規就農者補助事業に関する支援を進めました。

また、令和４年度は（株）ジェイエイ仙南サービスの事業の事業譲受を行い、葬祭・介護・自動車事業を開始し、組合員や地域の皆様に対して今まで以上に幅広く利用していただく体制を整えました。

協同活動・組織活動については、各地域活性化委員会による地域密着型イベントの開催や奉仕活動、女性部・青年部を中心とした仲間づくりや食農教育等々、当ＪＡを通じて組合員や地域の皆様にコミュニティを提供できました。

このような中での令和４年度の事業収支ではありますが、組合員・利用者の皆様がＪＡ事業を利用していただいた結果、当期剰余金４億４９百万円を計上することができました。

未だ農業を取り巻く環境は激しく変化しており、先が見えないことに不安が募る状況が続いておりますが、組合員、利用者皆様の信頼と期待に応えられるよう役職員一丸となり、力強い農業づくりと地域づくりに取り組んで参りますので、今後とも組合員皆様のより一層の温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

令和５年７月

みやぎ仙南農業協同組合

代表理事組合長 舟 山 健 一

